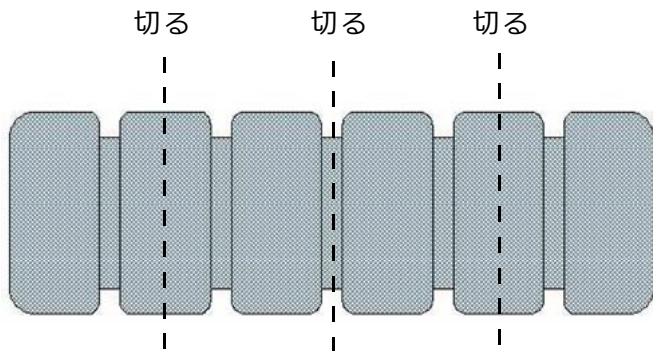


“スマホで顕微鏡写真”をサポートする

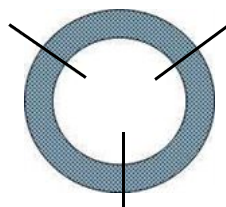
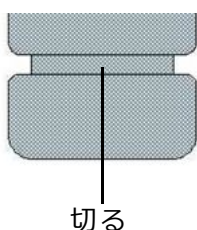
接眼レンズキャップ ～安価・簡単・楽々撮影～

兵庫県立須磨東高等学校 薄井 芳奈

光 スポンジカバー SGB-110 20×120



切断面が平らになるようにまっすぐに切る

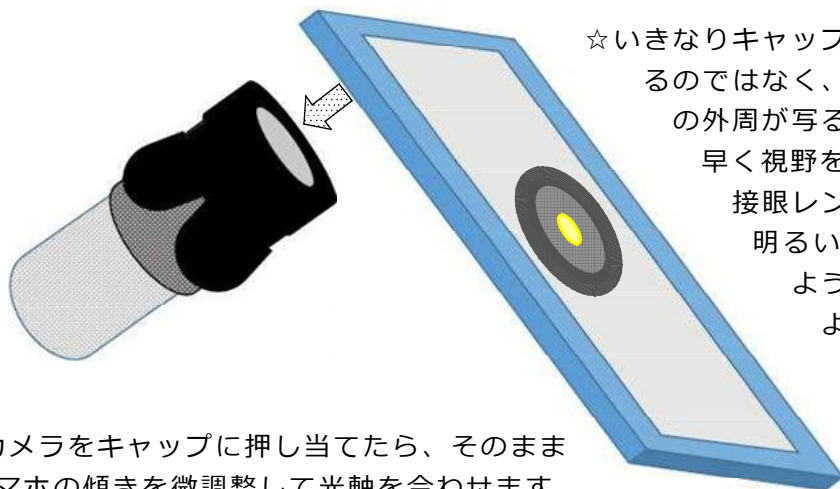


くびれのところまで縦に3カ所切り込みを入れる



接眼レンズにキャップをかぶせる

スマホのカメラをキャップにピッタリ押しつけ、光軸を合わせて撮影する



☆いきなりキャップにスマホを押し当てるのではなく、カメラに接眼レンズの外周が写るように構えるのが早く視野を捉えるコツです。

接眼レンズの中央に真ん丸の明るい光（視野）が見えるように構え、見失わないようにゆっくりカメラを近づけます。

☆カメラをキャップに押し当てたら、そのままスマホの傾きを微調整して光軸を合わせます。両手を使うと早く確実です。

“スマホで顕微鏡写真”をサポートする

接眼レンズキャップ ～安価・簡単・楽々撮影～

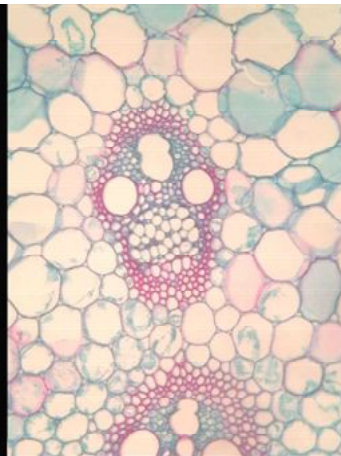
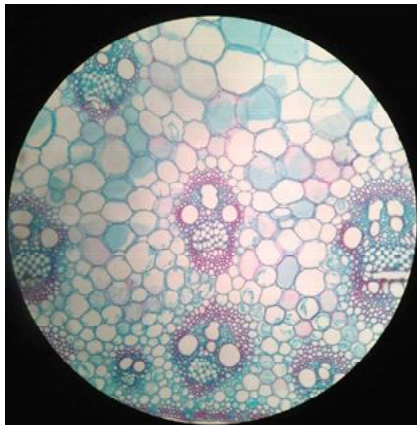


光 スポンジカバー SGB-110
を4つに切り分けて使います。

スマホやタブレットのカメラ
や、コンパクトデジカメを
キャップにピッタリ押しつけ
光軸を合わせて撮影します。

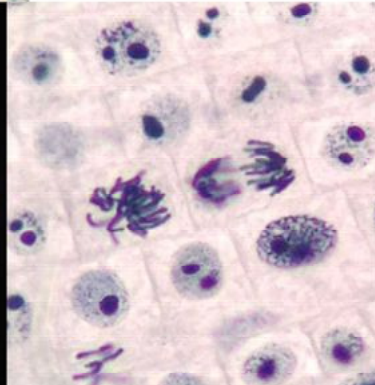
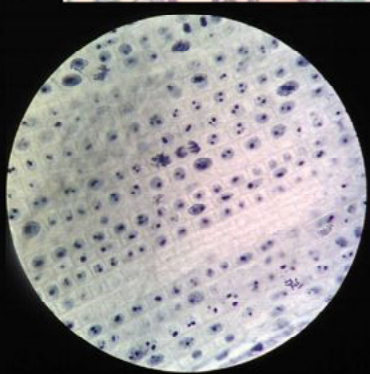
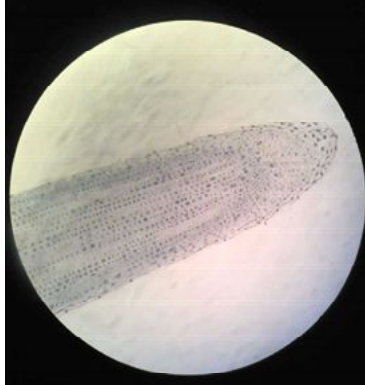


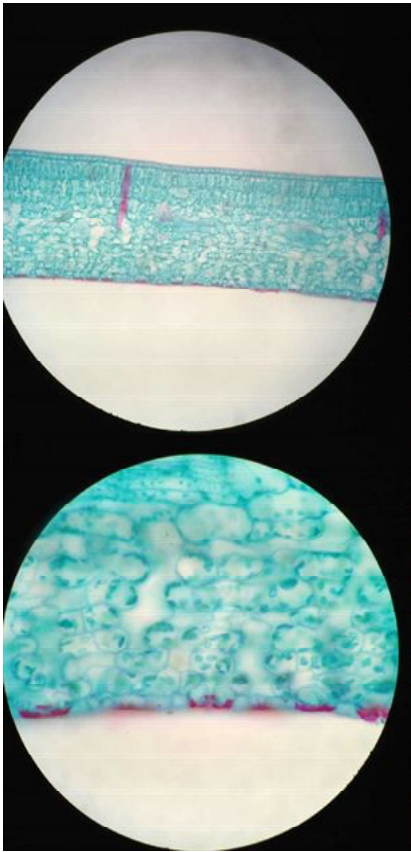
カメラに接眼レンズの外周が写る位置で、接眼レンズの中央に丸い明るい光（視野）が見えるように構え、見失わないようにゆっくりカメラを近づけます。カメラをキャップに押し当てたら、そのままスマホの傾きを微調整して光軸を合わせます。



トウモロコシの維管束
タマネギ根端分裂組織
市販のプレパラートです。
生徒用生物顕微鏡の像を
接眼レンズキャップを
使って iPad mini で撮影。
撮った写真そのままです。

丸い写真はその倍率で
入る視野全体
四角い写真はタブレット
側でズームして撮影。

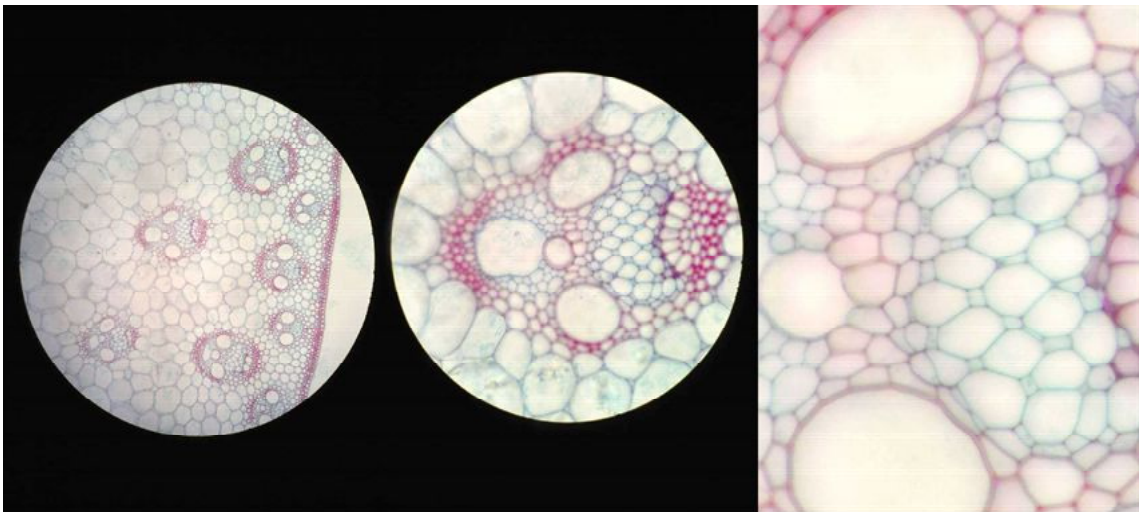
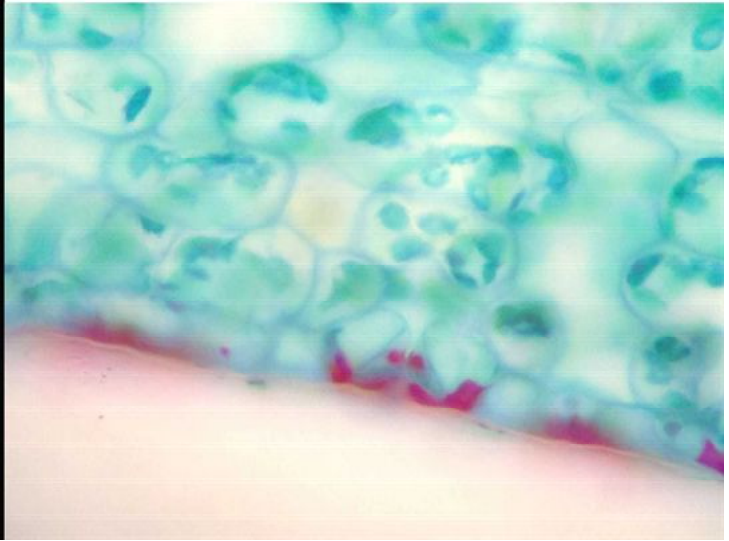




ツバキの葉の横断切片（市販のプレパラート）

1個30円で作った接眼レンズキャップの助けを借りて、iPad miniで撮影。撮ったそのままです。

顕微鏡の倍率は左上は150倍、左下は600倍です。600倍にして、タブレットの側でズームして撮影したものが右下です。孔辺細胞の断面が見えています。



トウモロコシの維管束(市販のプレパラート) 左から150倍、600倍、600倍をズーム。生徒用生物顕微鏡の像を 接眼レンズキャップを使って iPad miniで撮影。